



春のまち博

2025

4/1(火)~13(日)



かなざわ・まち博公式キャラクター

金沢には、兼六園や金沢城公園、卯辰山など、桜のスポットがたくさんあります。今年の花見は、ぜひこのマップをお役立てください。



馬場児童公園
昭和28年、金沢市の第1号の児童公園として開園。当時からある約20本のソメイヨシノは樹齢約60年。

金沢城公園
ソメイヨシノ、ヤマザクラ、コソノヒガン、オオヤマザクラ、カスミザクラ、オオシマザクラなどが見られる。

穴水町児童公園
旧二水高校跡地でソメイヨシノが約25本、樹齢は古いもので約50年と推定される。

犀川のみち桜並木ライトアップ
犀川の流を背景に、犀川のみちに並ぶ桜がライトアップされます。中心商店街からのお祭りなどにお楽しみください。
日時: 4月4日(金)~20日(日)予定、18:00~21:30

松月寺の大桜
国指定天然記念物
東西20メートル、南北15メートルに及ぶ大木で、寺の土庫を壊して枝を道路側にしている。慶安元年に小松城から移植され、昭和18年に国の天然記念物に指定された。

ソメイヨシノ
市指定保存樹

弥生さくら公園
平成6年3月に旧金沢地方気象台跡地を金沢市が取得し整備した公園。敷地前面に旧気象台の開花標準木だったソメイヨシノの大木を残し、更に各種のサクラの品種を植栽。花期が異なる15種類の20本のサクラがあり、長期開花しめる。

ソメイヨシノ
旧金沢地方気象台の標準木

金沢周遊バスルート(右回り)

金沢周遊バスルート(左回り)

金沢ジョッピングバス
土日祝のみ運行

桜坂
加賀藩時代、城からの眺めを良くするため、寺町台一帯は桜が多く植えられた。桜島、桜木小路という旧町名はこれに由来するといわれ、寺町台に登るとこの坂も桜坂と呼ばれた。

八重桜の街路樹が続く

兼六園
ソメイヨシノ、ヤマザクラ、コヒガン、兼六園庭園、名島桜、福桜、十月桜、冬桜、エドヒガン、シダレザクラ、シガクザクラ、オオヤマザクラなどが見られる。
兼六園無料開園&金沢城・兼六園観桜期ライトアップ
桜の開花にあわせて、金沢城公園と兼六園を期間限定でライトアップします。
日時: 4月上旬(開花5日目から1週間)
予定: 7:00~21:30
問合せ先: 金沢城・兼六園管理事務所
☎ 234-3800

卯辰山公園
藩政時代は軍事上の理由から庶民の立ち入りは禁止されたが、小坂神社周辺は桜の花見の名所として賑わったといわれる。卯辰山公園全体で約500本の桜があり、ソメイヨシノ、シダレザクラが代表品種、樹齢は40年~70年。

外濠公園・沈床園
明治39年、自前堀を埋め立て道路とその周辺を緑地として整備したのが現在の沈床園の前身。ソメイヨシノが約10本ある。

ソメイヨシノ
江戸末期に江戸染井村(現在の東京都豊島区)の桶木屋から「吉野桜」として売り出された品種。エドヒガンとオオシマザクラの中間の形質をもった、日本では最もポピュラーな品種。

カンザン
明治時代に東京の荒川堤から全国に広まったとされ、花弁数20~50枚の紅色の八重咲きである。寒さや病害虫に強いのが代表的な八重咲きとして各地に植栽されている。

ヤマザクラ
本州、四国、九州など日本の南半分広く分布している。野生種は通常花弁5枚の一重咲き。花びらと赤から茶色の新芽がほぼ同時に開く。

シダレザクラ
エドヒガンの変種。エドヒガンの枝は上に伸びるが、シダレザクラの枝は下に垂れる。風の強い日本でも長寿である。

錦見桜

錦見桜

石川立

石川立

石川立

石川立

石川立

※上記記載のルートは、2025年4月5日から運行開始

【公式サイト】 www.machihaku.com

まち博 検索

桜の名所やさくらスイーツの情報はこちらから

